

主な変更点

【人（１）生涯を通じた健康づくり】 P 1

（現状と課題）

- 健康寿命について、要介護度をもとに算出した客観的指標、意識調査をもとに算出した主観的指標などの説明を加え、分けて記載するよう変更。

【人（２）本人の暮らしを真ん中においた医療福祉の推進】 P 3

（目標）

- 医師の確保を表す目標として「初期臨床研修医採用数の維持」を追加。

【人（３）文化やスポーツを通じた元気な地域づくり】 P 5

（目標）

- 文化財に関する目標として「文化財を活用した県実施事業参加者数」を追加。

【人（５）子どもがたくましくしなやかに生きる力を身に付けるための教育】 P 9

（目標）

- 「全国学力・学習状況調査における各教科に関する調査の県平均正答率」を追加。

【人（６）誰もが働き、活躍できる柔軟で多様なライフコース】 P 11・12

（目標）

- 「滋賀マザーズジョブステーションを利用した女性の就職者数」から「滋賀マザーズジョブステーションの相談件数」に変更。

（現状と課題、施策の展開）

- 長期失業者等に対する就業支援に加え、ひきこもりに対する福祉的支援を追加。

【経済（１）成長市場・分野を意識した産業創出・転換】 P 13

（目標）

- 「観光消費額」から「延べ宿泊者数」に変更。

【経済（２）人材確保と経営の強化】 P 15

（目標）

- 「県内大学生の県内企業への就職率」から「しがヤングジョブパークを利用した若者の就職者数」に変更。
- 女性の活躍推進を示す目標として、「滋賀県女性活躍推進企業認証数」を追加。

【経済（３）生産性の向上や高付加価値化等による力強い農林水産業の確立】 P 1 7

（目標）

- 「オーガニック農業(水稲)取組面積」を追加。
- 「おいしが うれしが登録事業者数（県外店舗）」から「おいしが うれしが登録事業者数（首都圏の店舗）」に変更。

【社会（１）生活や産業を支える強靱な社会インフラの整備、維持管理】 P 1 9

（目標）

- 超スマート社会に関する目標として、「産学官連携による I C Tおよびデータの活用提案件数」を追加。

【社会（５）農山漁村の持つ多面出来価値の次世代への継承】 P 2 5

（目標）

- 「「やまの健康」を目指してモデル地域等が取り組むプロジェクト数」を追加。

【社会（６）多様性を認め、互いに支え合う共生社会の実現】 P 2 6 ・ 2 7

（目標）

- 性別に関する目標として、性別役割分担意識（「男性は仕事をし、女性は家庭を守るべき」という考え方）に同意しない人の割合）を追加。
- 外国人に関する目標として、「外国人相談窓口での支援件数」を追加。

（現状と課題、施策の展開）

- 再犯防止に対する支援を追加。

【環境（１）琵琶湖をとりまく環境の保全再生と自然の恵みの活用】 P 2 8

（目標）

- 「南湖の水草繁茂面積」の目標を「望ましい状態である 20～30k m²」に変更。

【環境（２）気候変動への対応と環境負荷の低減】 P 2 9

（目標）

- 「県民一人当たりのエネルギー消費量」から「県域からの温室効果ガス排出量」に変更。

【全体】

- サブタイトルに「健康しが」を追加。
- 横文字に注釈を追加。